

目次
平成26年度 北海道林業統計
(平成28年5月 北海道水産林務部)

A 森林面積及び蓄積

1 林相別森林面積	1
2 機能類型別国有林野面積	1
3 地種別森林面積	1
4 (総合) 振興局別森林面積	2
5 針・広別森林蓄積	3
6 樹種別森林蓄積	4
7 (総合) 振興局・市町村別森林面積及び蓄積	6
8 (総合) 振興局別立木成長量	25

B 地方産業経済に関連する森林

9 公益的利用と地元利用の森林面積	26
10 分収林(部分林)の現況	27
11 民有林事業体別森林面積	28
12 経済活動別道内総生産及び要素所得	28
13 森林施業計画	29
14 木材関連工業の出荷額	29
15 市町村交付金等交付額	29

C 治山

16 保安林面積	
(1) (総合) 振興局別保安林面積	30
(2) 保安林種別面積	31
(3) (総合) 振興局別・保安林種別面積	32
17 国有林治山事業実績	46
18 民有林治山事業実績	46
19 山地災害の発生状況	48
20 林地開発行為許可処分状況	49

D 林道

21 林道の現況	
(1) 林道延長	50
(2) 林内道路密度(自動車道)	50

(3) (総合) 振興局別林内道路の延長(自動車道)	51
22 林道事業実績	
(1) 新設延長	52
(2) 改良延長	53
23 貯木場	53

E 造林

24 (総合) 振興局別緑化樹養成量	54
25 母樹林(指定採取源指定状況)	54
26 苗畑面積	55
27 苗木生産量	
(1) 所管別苗木(成苗)の生産量	56
(2) (総合) 振興局別苗木(成苗)の生産量	56
28 樹種別造林(更新)面積	57
29 (総合) 振興局別造林(更新)面積	57
30 人工林の齢級別面積	58
31 一般民有林造林種別面積	60

F 林野被害

32 立木被害	61
33 獣害	
(1) 野ねずみ	62
(2) 野うさぎ	62
(3) エゾシカ	62
34 病虫害	63
35 林野火災原因別発生件数	63
36 森林国営保険契約及びてん補	63

G 森林伐採

37 (総合) 振興局別森林伐採面積及び材積	64
38 人工林の主伐・間伐別伐採面積及び伐採材積	65
39 立木販売・製品生産資材別伐採材積	66

H 生産	
40 素材生産量	67
41 製品生産素材等販売量	68
42 木材材種別格付実績	68
43 木炭生産実績	68
44 特用林産物生産量	69
I 木材工業	
45 木材加工工場の現況	70
46 製材工場	
(1) 製材工場の現況	70
(2) 製材工場（総合）振興局別製材生産量	70
47 フローリング工場	
(1) フローリング工場の現況	71
(2) フローリング樹種別生産量	71
48 合単板工場	
(1) 合単板工場の現況	71
(2) 合単板樹種別原木消費量	71
49 パルプ生産量及び原料使用量	71
50 チップ工場	
(1) チップ工場の現況	71
(2) チップ工場（総合）振興局別チップ生産量	71
51 その他木材加工工場	
(1) 工場の現況	72
(2) 主な製品の生産量	72
52 木材防腐処理実績	72
53 建築用材の人工乾燥処理実績	72
54 プレカット部材生産実績	72
J 木材の流通	
55 木材需給の状況	73
56 木材・木製品の輸出	
(1) 製材輸出実績	73
(2) 合板輸出実績	74
(3) 単板輸出実績	74
(4) 丸太輸出実績	74
57 木材・木製品の輸入	
(1) 木材用途別・輸入港別輸入実績	75
(2) 製材輸入実績	76
(3) 合板輸入実績	76
(4) 単板輸入実績	76
(5) 丸太輸入実績	76
58 木材の価格変動	
(1) 木材価格（総括）	77
(2) 輸入材価格	77
(3) 月別木材価格の推移	78
(4) パルプ・チップ原料材価格	80
(5) フローリング価格	80
(6) 合板価格	80
(7) チップ価格	80
K 森林組合	
59 森林組合の（総合）振興局別現況	81
60 森林組合の（総合）振興局別貸借対照表	81
61 森林組合の（総合）振興局別損益計算書	82
62 共同利用施設の現況	82
L 林業構造改善事業等	
63 林業・木材産業構造改革事業	
(1) 実施年度別事業費（直近5ヶ年）	83
(2) 平成25年度市町村別事業科目別事業費	83
64 林業金融の状況（林業金融に係る実績）	83
M 試験研究機関等及び林業普及指導員	
65 学校	
(1) 大学	84
(2) 農業高等学校	84
66 試験研究機関	
(1) 国立研究開発法人森林総合研究所北海道支庁	84
(2) 地方独立行政法人北海道立総合研究機構 森林研究本部林業試験場	85
(3) 地方独立行政法人北海道立総合研究機構 森林研究本部林産試験場	86
67 林木育種事業の研究機関	

(1) 国立研究開発法人森林総合研 林木育種センター北海道育種場	87
(2) 国立大学法人東京大学大学院農学生命科学研究科 附属演習林北海道演習林	87
(3) 地方独立行政法人北海道立総合研究機構 森林研究本部林業試験場林業経営部育種科	87
68 林業普及指導員の配置	87

N 自然環境保全

69 自然公園	
(1) 自然公園の概要	88
(2) 自然公園面積	90
(3) 公園利用者数の推移	90
70 自然環境保全地域等	
(1) 原生自然環境保全地域の概要	91
(2) 自然環境保全地域（国指定）の概要	91
(3) 道自然環境保全地域の概要	91
(4) 環境緑地保護地区等の概要	91
(5) 世界自然遺産の概要	91
71 鳥獣保護	
(1) 鳥獣保護区	92
(2) 休猟区	92
(3) 特定猟具使用禁止区域	92
(4) 狩猟者登録証交付者数	92
(5) 職業別狩猟者登録証交付状況	93
(6) 被害防止及び数の調整を目的とした捕獲のための許可証数	93
(7) 鳥類捕獲数	93
(8) 獣類捕獲数	93
72 自然休養林等	
(1) 自然休養林	94
(2) 道立の森	95

O 労務、林業機械

73 林業事業者及び労働者の推移	
(1) 従業上の地位別林業就業者の推移	96
(2) 事業種別事業者数、労働者数	96
(3) 林業労働者数の推移	96
(4) 常用雇用労働者の年間就労日数の推移	96

(5) 新規参入者の推移	96
74 産業別労働災害の推移	97
75 林業用主要機械保有数	97
76 高性能林業機械保有数	97

P 林業予算、林業関係職員等

77 北海道水産林務部予算	
(1) 一般会計（歳出予算）	98
(2) 林業・木材産業改善資金貸付事業特別会計	98
78 国有林野歳入歳出	
(1) 国有林野歳入歳出表	99
(2) 貸借対照表	99
79 林業関係職員	
(1) 道内森林管理局等職員数	100
(2) 北海道庁職員数	100
80 北海道水産林務部、北海道森林管理局等機構図	
(1) 北海道水産林務部機構図	101
(2) 北海道森林管理局機構図	102
(3) 国立大学法人演習林機構図	103
(4) 国立研究開発法人機構図	103
(5) 地方独立行政法人機構図	103

北海道林業統計の利用に際して

1 総合的な留意事項

- (1) 統計数値は、民有林については業務資料及び道内各国立大学法人演習林などの提供資料から、国有林については北海道森林管理局及び道内各刑務所などの関係機関からの提供資料に基づき集計しています。
- (2) 「その他国有林」は、国有林のうち北海道森林管理局所管以外の森林であり、注記があるものを除き、各刑務（支）所のほか、防衛省地方防衛局演習場、環境省自然環境局集団施設地区などの森林が含まれます。
- (3) 「民有林」区分で、「道有林」とは道が「北海道有林野の整備及び管理に関する規程」（平成14年4月1日付け訓令第17号）に基づき整備・管理している森林、「市町村有林」とは市町村が管理している森林、「私有林等[※]」とは個人・会社・共同(共有)・各種団体・組合等の所有する森林及び前記「道有林」・「市町村有林」以外の公有林であり、「一般民有林」とは「道有林」以外のすべての民有林をいいます。
- (4) 本統計は、主として年度実績を中心に作成していますが、表中何年とあるものは暦年を表し、年月日現在とあるものは調査時現在を表しています。
- (5) 単位は原則としてヘクタール、立方メートルを使用しています。数値は四捨五入法を用い、単位に満たないものは「0」、記載数値のないものは「―」、数値不詳や調査を欠くものは「…」、数値を秘匿するものは「x」によって表示しています。また、単位未満を四捨五入しているため、総数と内訳の集計値が一致しない場合があります。

2 用語の解説

- (1) 人工林：植栽又は人工下種により生立した林分で、目的樹種の歩合が50%を占める森林
- (2) 天然林：立木地のうち、人工林以外の森林
- (3) 無立木地：樹冠疎密度が0.3未満（道有林は0.1以下）の林分（森林）
- (4) 除地：岩石地、崩壊地、林道敷地、庁舎敷地、使用許可地及び防火線敷地等
- (5) 針葉樹林：ある区画における針葉樹の混合材積歩合が75%以上の立木地
- (6) 広葉樹林：ある区画における広葉樹の混合材積歩合が75%以上の立木地
- (7) 針広混交林：針葉樹林及び広葉樹林以外の立木地
- (8) 制限林：森林のうち、保安林、保安施設地区（砂防指定地を含む。）、国立公園・国定公園の特別地域及び鳥獣保護区など、立木竹の伐採が法令等により制限されている森林
- (9) 普通林：制限林以外の森林
- (10) 官行造林地：公有林野等官行造林法に基づき、国が造林した分収林
- (11) 皆伐：森林を構成する林木の一定のまとまりを一度に全部伐採する方法
- (12) 択伐：多様な樹種及び多層の樹冠を有する森林に誘導するために行う天然更新を伴う概ね30%以内の伐採率による部分的な伐採方法
- (13) 間伐：育成途中の森林において森林内の立木密度を調整するため、競合している林木の一部を伐採する方法
- (14) 漸伐：稚幼樹が発生し、ほぼ同齢の幼齢林となるよう、森林内の林木を数回に分けて全部伐採する方法
- (15) （人工林の）主伐：更新又は更新準備のために行う伐採若しくは複数の樹冠層を有する森林における上層木の全面的伐採又は被害による伐採で更新を伴う伐採方法
- (16) （人工林の）間伐：主伐以外の伐採方法（除伐を含む。）

※ 平成19年度までの「その他民有林」と同じ区分であり、そのほとんどが「私有林」であることから表記を変更しています。

北海道と全国の比較

区 分	全 国	北海道	比率(%)	備 考
森林資源				
森林面積(千ha)	25,081	5,541	22.1	全 国:平成24年3月31日現在 北海道:平成27年4月1日現在
国有林	7,674	3,062	39.9	
都道府県有林	1,210	608	50.3	
市町村財産区有林	1,709	329	19.2	
私有林等	14,488	1,542	10.6	
林種別面積				
人工林	10,289	1,492	14.5	
天然林	13,429	3,778	28.1	
その他	1,362	271	19.9	
森林蓄積(百万m3)	4,901	775	15.8	
林業生産				
森林伐採量(千m3)	40,209	4,840	12.0	全 国:平成25年度実績 北海道:平成26年度実績
国有林	8,482	1,500	17.7	
民有林	31,727	3,340	10.5	
林道延長(km)	138,287	24,287	17.6	全 国:平成26年3月31日現在 北海道:平成27年3月31日現在
国有林	45,249	16,120	35.6	
民有林	93,038	8,168	8.8	
森林組合				
組合数	659	80	12.1	全 国:平成25年3月31日現在 北海道:平成27年3月31日現在
組合員数(千人)	1,555	41	2.7	
組合員所有面積(千ha)	10,877	1,003	9.2	
払込済み出資金(百万円)	53,248	4,465	8.4	

- ・ 全国の数値は、「森林・林業統計要覧 2015」(林野庁)による。
- ・ 北海道の数値は、本書の数値による。(森林組合については、調査組合に対する調査結果。)
- ・ 全国と北海道の数値はそれぞれ調査年が異なるため、比率は参考として掲載した。